

UCSCの図書館

山橋 幸子 (文化学部教授)

私の研修先であるカリフォルニア大学サンタクルーズ校(UCSC)の図書館を紹介します。

UCSCは、カリフォルニア州のサンフランシスコから車で南へ約1時間半、モンレー湾に面したサンタクルーズという気候のよい安全な町にあります。1965年に創立した4年生の州立総合大学で、人文科学、社会科学、自然科学、工学、芸術の5学部があり、61の専攻コースに約15000人の学生が在籍、大学院では30の研究分野に1400人程の院生が在籍しています。

大学はサンタクルーズのダウンタウンから山側に車で10分位の森の中にあり、丘陵地の斜面を利用した広大なキャンパスとなっていますが、そこに二つの大学図書館があります。人文社会科学系のMcHenry Libraryと自然科学・工学系の Science & Engineering Libraryですが、蔵書数約150万、雑誌等の定期購読17000、マイクロフィルム825000、地図・ビデオ等の非印刷体50万以上を保有しています。大学は秋・冬・春・夏学期のクォーター制をとっていて、図書館の開館時間は長く、秋～春学期の月～木曜日は9:00～22:30です。週末は短く金曜日は9:00～18:00、土曜日は9:00～17:00ですが、日曜日は10:00～22:30と長いです。(夏学期の開館時間は少し異なり全体的に短いです。)

ここの図書館で気づいたことの一つに、利用者への充実したサービスが挙げられます。当大学の学生や教職員、客員研究員は勿論ですが、家族や卒業生、更に、近隣のかなり広い地域に住む人たちをFriends of the UCSC Libraryと呼んで、一定の条件下で本の貸出をしています。また図書館内でなら、誰でも閲覧できます。更に、本の貸出数ですが、教職員や客員研究員のみならず、在籍中の院生は勿論、学部生も制限がなく必要なだけいくらかでも借りることができます。貸出期間は、学部生は2週間ですが、教職員等は長期貸出といって、貸出日の翌年の4月15日迄なので、最大1年3ヶ月半借りることができます。また、他に借りたい人がいなければ何度でも期間の更新が可能で、図書館のカウンター、online、あるいは電話等を通して行います。但し、期限内に返却しない場合、猶予期間の連絡がありそれを過ぎると、1冊につき6ドル、1ヶ月を過ぎると、場合によっては150ドルの罰則金を支払うこともあるようです。

図書館の授業に対するサポートには目を見張るものがあります。両図書館に“Reserve Service”というセクションがあって、その学期のクラスで用いられる資料のリストがオープンになっており、学生が授業に必要な資料は全て“Reserve Desk”という貸出カウンターで、短時間(クラスの受講生の数により2時間～3日)ですが借りて読むことができるようになっています。また、その学期で目下行われている授業の多くが教員の要請下で録音されており、そのテープをMcHenry Library のFilm & Music Centerで聞くことができます。教員もReserveされているものを借りることができ、更に、Media & Electronic Resource Center にある言語関係のテープ、CD-ROM、コンピューターファイル等も3日間ですが、貸出可能です。但し、このReserveされている資料は全て返却期限を過ぎると、特別厳しい罰則を受けるそうです。

私の利用するMcHenry Libraryの前には桜の木が植えてあり、写真にあるように4月には満開でとても感動したのを覚えています。4階建ての大きな建物で、広々とした内部には最新の設備があり、専門毎の文献が豊富に揃っていて、それぞれの媒体資料にあった利用の提供がなされています。図書館員の説明をうけながら、多くの学生が図書館を利用しているのが印象的でした。厳格なルールの下に、研究と教育のサポートに基本をおきながら、幅広い利用者に充実したサービスを提供していると感じました。詳細に関しては、<http://bob.ucsc.edu/library/>で見ることができます。



[McHenry Library and sakura] (撮影:Laura McClanathan)